

令和6年度

元気いっぱい 花いっぱい
笑顔あふれる みんなの宮前小学校

所沢市立宮前小学校



けやき

自立する子

《学校教育目標》

- ・かしこく
- ・やさしく
- ・たくましく

第6号 令和6年8月29日

2学期スタート 実りの秋へ!

校長 五十嵐 和彦

7月20日から始まった夏休みも終了し、子供たちの明るく元気いっぱいな笑顔が学校に戻ってきました。とても暑い夏でしたが、貴重な体験や行事、ご家族との関わりを通して、子供たちは大きく成長したことと思います。2学期は運動会、校内音楽会と大きな行事が予定されています。子供たちにとって深く根を張り、大きく成長できる2学期となりますよう、ご支援ご協力をお願いいたします。



7月11日林間学校に出発(5年生)



東狭山ヶ丘夏祭り(8月3日)

(株)カマタ様より寄贈 屋外に AED 設置

宮前小学校のお隣にある(株)カマタ様より、市内全小中学校47校に自動体外式除細動器(AED)が寄贈されました。屋外に設置され、地域の方々も24時間利用することができます。7月16日に贈呈式が行われました。鎌田幸助社長とともに、市長・教育長をはじめ、本校児童会の代表児童も参加しました。鎌田社長には、これまででもピアノやフルートなどの楽器、液晶プロジェクターや自動水栓などの設備を寄贈していただきました。本当にありがとうございました。



失敗から学ぶ、エジソンのすばらしさ

エジソンは、その生涯の中で 1300 以上の発明をして「発明王」と言われています。エジソンが発明したものの中で、蓄音機、動画撮影、電球は特に有名で、エジソンの三大発明と言われています。

エジソンは何の苦勞もなく発明ができたわけではありません。電球を発明する際、エジソンは 1 万回にも上る実験を行い、その結果、電球が完成し、今でも私たちの生活を明るく照らし続けています。

エジソンに「1 万回失敗をしても実験を続けたのはどうしてですか」と質問したところ、エジソンは「I have not failed. 私は失敗などしていない」と答えたそうです。「この方法では電球は光らないという発見を 1 万回してきたのだから、それは成功なのだ」と述べています。そしてエジソンは次のようにまとめています。「私たちの最大の弱点は、諦めることにある。成功するために最も確実な方法は、常にもう 1 回だけ試してみることだ。」 けっして諦めないエジソンには「トライ&チャレンジ」の精神にあふれていたのだと思います。私たちもエジソンのように「諦めが悪い人」になりましょう。そして「実りの秋」となるよう、「トライ&チャレンジ」で取り組んでいけたらと思います。



7月の行事から

9月の生活目標：
進んでからだをきたえよう



7/3 3年ブックトーク



7/10 児童朝会



7/19 1学期終業式